

江の川上流水害タイムライン 第1回検討会 ニュースレター

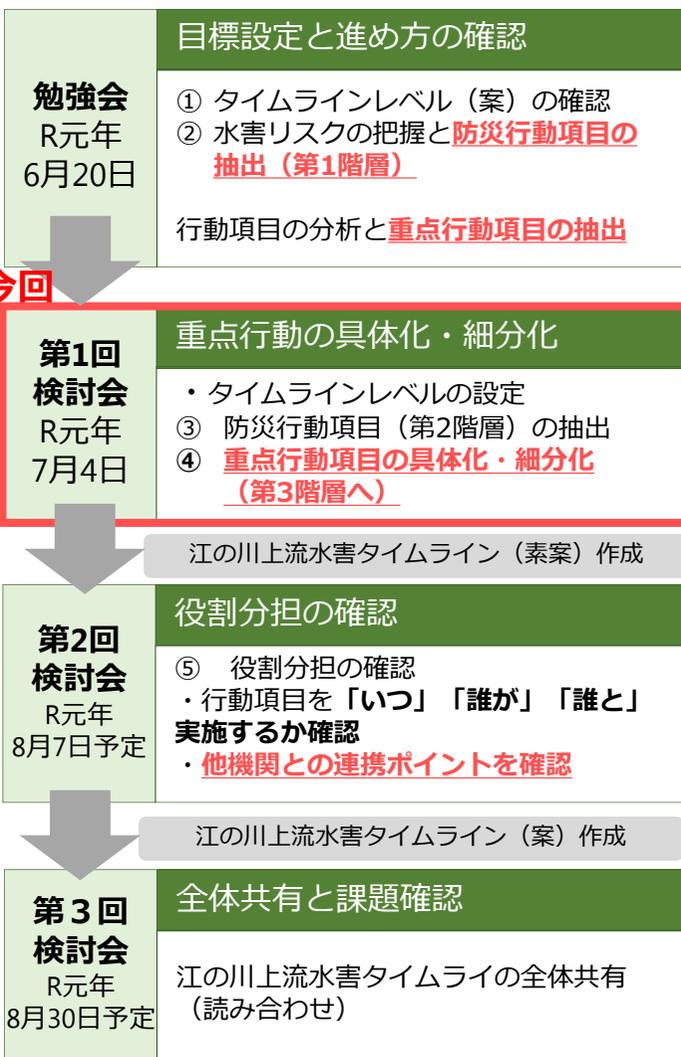
令和元年7月4日（木）広島県三次庁舎(14:00～16:30)

～次第一～

1. 開会挨拶
2. 水害タイムラインの作成に向けて（座学）
3. 防災気象情報の利活用について（座学）
4. タイムラインで想定する水害シナリオとタイムラインレベルの設定
5. グループワーキング
6. 質疑応答
7. 今後のスケジュールについて
8. 座長講評
9. 閉会挨拶

「江の川上流水害タイムライン」の作成に向けて、**第1回検討会**を開催しました。今回は、防災関係25機関が参加し、前回勉強会で各機関毎に抽出した防災行動項目（第1階層）をもとに、具体化・細分化（第2階層、第3階層の抽出）を行いました。これにより、他機関との連携を必要とする課題の確認ができました。

■ ワーキングスケジュール



座学1 水害タイムラインの作成に向けて

座長：広島大学大学院 工学研究科 かわはら 河原教授



タイムラインで目指すものは「逃げ遅れゼロ(人的被害の最小化)」と「社会経済被害の最小化」

関連する方々、機関の情報を共有して、いつ、だれが、何をするのか、ということ時間を軸に沿って整理して、江の川上流の水害特性を踏まえた具体的なタイムラインの作成に取り掛かりたい。

座学2 防災気象情報の利活用について

気象庁広島地方気象台 おく 小貝水害対策気象官



気象庁では、注意報・警報の予報を**危険度毎に色分けした図表形式**としたり、警報級の可能性について**5日先までの早期注意情報**を発表するなど、情報提供の方法に工夫をしている。

こういった情報はスマートフォンでも確認することができるので、有効に使って、避難や命を守るための行動につなげていただきたい。

◆ 参加機関

三次市	陸上自衛隊 第13旅団司令部
危機管理課	中国電力(株)
土木課	西日本電信電話(株)
下水道課	西日本旅客鉄道(株)
社会福祉課	西日本高速道路(株)
安芸高田市	備北交通(株)
危機管理課	(株)ディア・レスト三次
管理課	(一社)三次地区医師会
上下水道課	社会福祉法人 水明会
広島県	社会福祉法人 ちとせ会
危機管理課	社会福祉法人 清風会
道路河川管理課	本部
広島県 北部建設事務所	清風荘
事業調整 土砂法指定推進班	サンプリエ
管理課	(株)三次ケーブルビジョン
広島県 西部建設事務所	国土交通省 三次河川国道事務所
広島県警察本部	河川管理課
三次警察署	道路管理課
安芸高田警察署	国土交通省 土師ダム管理所
備北地区消防組合 消防本部	気象庁 広島地方気象台
安芸高田市消防本部	出席：25機関、45名 (検討会構成機関：37機関)

座長	広島大学大学院 工学研究科	河原教授
オブザーバー	国土交通省 浜田河川国道事務所	



グループワーキング1 重点行動項目の具体化・細分化

【Step1】 前回勉強会で抽出した「重点行動項目」（第1階層）を各機関毎にワークシートに貼る（ピンク付箋）

【Step2】 「重点行動項目」から分類される「行動項目」（第2階層）を黄色付箋に書き出す

【Step3】 「行動項目」を行動手順・内容がわかる程度に具体化・細分化し、「手順」（第3階層）として水色付箋に書き出す

【Step4】 行動を実施するタイミングをタイムラインレベルで記載。また、行動を開始する基準が規定されている場合は、その基準を記載

【Step5】 行動を実施する上で、他機関との連携を必要とする「課題」を黄色付箋に書き出す

重点行動項目 (行動課題) (ピンク付箋)	行動項目 (黄色付箋)	実施する上での課題 (黄色付箋)
交通規制	交通規制の実施	関係機関への迅速な周知
手順① (水色付箋)	手順② (水色付箋)	手順③ (水色付箋)
雨量情報の確認	通行止め判断	通行止めの従事者との連絡 通行止めの周知
タイムライン レベル	4	行動開始の 基準 ※計画開始時刻以上 ※計画開始時刻以上



↑グループワーキングの様子

←各機関毎に作成したワークシートの例

■ グループワーキング発表

グループ名	主な発表内容
避難対応	・ 浸水対策、水防活動、住民の避難状況の把握等、様々な対応をしなければならないときに、電話や無線機等は通じることが課題
大規模 避難・救助	・ 情報の収集、把握、共有をいかにしっかりするか。避難支援や救助活動のために、道路情報や被害状況、対応状況を多機関で共有することが大変重要
防災情報 広報・報道	・ 防災情報、気象情報の住民への周知が重要で、住民の避難を促すために「避難対応」グループとの連携調整を深めたい
福祉避難施設・ 浸水時緊急退避施設	・ 自分の施設の利用者の方の安全確保が第一。未経験なのでイメージがわからず、職員も不足。医師や看護師の確保が必要になるのではないか
社会基盤 (土木)	・ 道路管理者としての責務が重く、通行規制等を実施するための現場状況の把握、そしてその情報発信が一番の課題
社会基盤 (交通・運輸)	・ 道路、鉄道の状況を把握して、道路や線路の点検や診断等をすぐできるようにすることが必要。そして、早く情報提供することが大切
社会基盤 (ライフライン)	・ いつ水害がやってくるのかというレベル感を早く知りたい。いかに早く初動で動いて復旧できるかというのが使命

グループワーキング2 発表・意見交換

【Step1】 抽出した「課題」をグループワークシートに移し、解決する上で連携・調整を必要とする関係機関を選択

【Step2】 グループ毎に全体発表

グループワーキングの様子→



水害が起こる前にやるべきことがあることを理解し、道路状況をはじめとするオンラインの情報がどうしても必要ということも多くのグループで共有していた。今日の結果、経験を持ち帰って、まだ気づいていないことなどをもう一度確認していただきたい。 座長：河原教授

グループ名：大規模避難	広島県 危機管理課	広島県警 本部	安芸高田 警察署	三次警察署	備前市消防 総合本部	安芸高田市 消防本部
課題・ 懸念事項	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携・ 調整機関	<input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 民防部 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路	<input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 民防部 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路	<input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 民防部 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路	<input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 民防部 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路	<input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 大規模避難 - 消防 <input type="checkbox"/> 民防部 <input type="checkbox"/> 広電・経路 <input type="checkbox"/> 消防団 <input type="checkbox"/> 広電・経路



↑全体発表の様子

←グループ毎に作成したワークシートの例

■ まとめ

- ・ 重点行動項目（第1階層）の具体化・細分化（第2階層・第3階層の抽出）により、他機関との連携を必要とする課題の確認ができた。
- ・ 今後、役割分担の確認で、行動項目を「いつ」「誰が」「誰と」実施するか確認し、他機関との連携ポイントを確認していく。

[次回] 江の川上流水害タイムライン第2回検討会 8月7日（水）予定
・ 他機関との連携ポイントの確認